

杉並区立西田小学校 令和3年度第7回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和3年12月20日(月) 午後4時10分から午後5時30分
- ・場所 図書室
- ・出席者 諏訪会長
【委員】鈴木校長(司会)、恵羅、渡邊、山内、中澤、半澤、目黒、望月、檜枝(記録)
【事務局】
- ・資料 資料1 令和3年度 第6回学校運営協議会次第
資料2 令和3年度「NISHITA 未来の学校」実施計画案

1 3、4年担任との懇談

2 会長挨拶

- ・3、4年担任との懇談ができて良かった。
- ・これからの世界はオリジナリティが重要となる。オリジナリティの源泉が遊びという認識が世界的になってきているが、東アジアでは従来型の教科が重視されている。どうすれば未来志向の学校になれるのかが課題。
- ・日本の青少年も大人も社会変革意識が低いと指摘されている。学校も社会参画・社会変革意識をもっと持つことが望まれている。

3 校長挨拶

- ・5年生の社会科見学は10月に予定していたが、コロナの影響で延期されて本日となった。副校長が同行しているので、CSは欠席となった。
- ・子どもたちは校外に出て学ぶと大きな学びが得られるので大切。6年生は17日(金)に社会科見学で江戸東京博物館に行ったが10校ほどが来ていた。約束事を守らない他校の児童に西田小の児童が注意したら、注意された児童が苦情を言いに来た。良い社会勉強になったと思う。

4 未来の学校について

- ・校長から以下の説明があった。未来の学校を行うのであれば、準備を始める必要がある。学校主催で行う素案を佐々木先生に作ってもらい、それをたたき台として本日のCSで議論をしてもらいたい。教員は6年程度で異動するので、持続性を担保するために地域の方々に関わってもらう必要がある。学校が地域とネットワークを作る重要な活動の一つとして未来の学校がある。
- ・佐々木先生から資料2に基づいて以下の説明があった。学校主催という前提で企画すると、校長を委員長とした実行委員会方式になる。ユネスコスクールは管理職が変わると下火になる傾向があり、持続性に課題がある。その原因は地域に根差していないこと。西田小は2016年から

ESD 活動を始めて、持続可能な地域作りに取り組んでいる。この取り組みは CS と整合しているため、委員の皆さんに積極的に関与してほしい。

- 以上の報告を行って以下の意見が出た。
 - * 趣旨は CS と合っているので、学校と CS の共同でできないか。
 - * 一昨年の未来の学校は子どもと大人が学び合う熱気を感じた良い企画だったが、本年度の企画内容は違うので、名称は別が良い。例えば「未来の学校を考えるシンポジウム」。
 - * 一昨年のような企画は行わないのか。それに対して、行えば良いが現状のコロナ下では同じような内容の企画は実施困難、現状で可能な企画を行う、等の意見が出た。
 - * 児童は参加しないのかとの質問に対して以下の意見が出た：これから検討、大賛成。
 - * テーマは絞る必要がある。
 - * 6 年生は「平和」、5 年生は「環境」を学んでいるので、地域の人に関連する提案を貰うような企画も良い。
 - * 児童の学習との関連が重要。
 - * 地域のイベントであるお祭りや節分を利用する。
 - * 新しい未来の学校の姿を作っていくべきだ。テーマをどう絞るのか。
 - * CS との共同運営、共同開催がよい。
- 以上の検討の結果、学校と CS の共同開催の方向でさらに検討することになった。

5 その他

- 教育調査は資料 1（次第）に記載された QR コードから入れる。URL は明日メールで送る。
- 次回は児童館館長が参加の予定。

6 事務連絡

- 次回（第 8 回）学校運営協議会開催予定
2022 年 1 月 31 日（月）午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分

以上